

編集部に寄贈していただいた書籍

(2017年1月～12月)

- 秋田茂著『帝国から開発援助へ——戦後アジア国際秩序と工業化——』名古屋大学出版会 2017, iv + 241pp.
- 阿古智子・大澤肇・王雪萍編『変容する中華世界の教育とアイデンティティ』国際書院 2017, 306pp.
- 浅沼信彌・小浜裕久著『ODAの終焉——機能主義の開発援助の勧め——』勁草書房 2017, vii + 234pp.
- 家永真幸著『国宝の政治史——「中国」の故宫とパンダ——』東京大学出版会 2017, ix + 310 + 27pp.
- 宇高雄志著『多民族〈共住〉のダイナミズム——マレーシアの社会開発と生活空間——』昭和堂 2017, xii + 284pp.
- 大野昭彦著『市場を織る——商人と契約：ラオスの農村手織物業——』京都大学学術出版会 2017, ii + 562pp.
- 株本千鶴著『ホスピスで死にゆくということ——日韓比較からみる医療化現象——』東京大学出版会 2017, v + 298 + 27pp.
- 上水流久彦・太田心平・尾崎孝宏・川口幸大編『東アジアで学ぶ文化人類学』昭和堂 2017, vii + 254pp.
- 加茂具樹編著『中国対外行動の源泉』慶應義塾大学出版会 2017, iv + 230pp.
- 川満直樹著『パキスタン財閥のファミリービジネス——後発国における工業化の発展動力——』ミネルヴァ書房 2017, iv + 304pp.
- 神田さやこ著『塩とインド——市場・商人・イギリス東インド会社——』名古屋大学出版会 2017, viii + 371pp.
- 木田剛・竹内幸雄編著『安定を模索するアフリカ』ミネルヴァ書房 2017, xii + 370pp.
- 北川勝彦・北原聡・西村雄志・熊谷幸久・柏原宏紀編『概説世界経済史』昭和堂 2017, v + 291pp.
- 金貝著『現代中国の医療行政——「統制」から「予期せぬ放任へ」——』東京大学出版会 2017, iii + 316pp.
- 金太宇著『中国ごみ問題の環境社会学——〈政策の論理〉と〈生活の論理〉の拮抗——』昭和堂 2017, iii + 209 + vii pp.
- 黒崎卓・山形辰史著『開発経済学——貧困削減へのアプローチ——増補改訂版』日本評論社 2017, xiii + 268pp.
- 小嶋華津子・島田美和編著『中国の公共性と国家権力——その歴史と現在——』慶應義塾大学出版会 2017, iv + 182pp.
- 後藤政子・山崎圭一編著『ラテンアメリカはどこへ行く』ミネルヴァ書房 2017, xii + 339pp.
- 小林和美著『早期留学の社会学——国境を越える韓国の子どもたち——』昭和堂 2017, x + 249pp.
- 佐藤菜穂著『カンボジア農村に暮らすメマライ（寡婦たち）——貧困に陥らない社会の仕組み——』京都大学学術出版会 2017, v + 249pp.
- 佐藤元英著『経済制裁と戦争決断』日本経済評論社 2017, vi + 296pp.
- 塩野崎信也著『〈アゼルバイジャン人〉の創出——民族意識の形成とその基層——』京都大学学術出版会 2017, xiv + 420pp.
- 董光哲著『中国の上場会社と大株主の影響力——構造と実態——』文眞堂 2017, xi + 203pp.
- 長縄宣博著『イスラームのロシア——帝国・宗教・公共圏1905-1917——』名古屋大学出版会 2017, ix + 326 + 101pp.
- 波多野澄雄・久保亨・中村元哉編『日中終戦と戦後アジアへの展望』慶應義塾大学出版会 2017, x + 302pp.
- 濱本良一著『世界を翻弄し続ける中国の狙いは何か——2014～2015年——』ミネルヴァ書房 2017, xviii + 422 + 22pp.
- 比較家族史学会監修 加藤彰彦・戸石七生・林研三編著『家と共同性』日本経済評論社 2016, x + 369pp.
- 宝剣久俊著『産業化する中国農業——食料問題からアグリビジネスへ——』名古屋大学出版会 2017, iv + 270pp.
- 本田洋著『韓国農村社会の歴史民族誌——産業化過程でのフィールドワーク再考——』風響社 2016, 486pp.
- 三重野文晴・深川由起子編著『現代東アジア経済論』ミネルヴァ書房 2017, ix + 314pp.
- 三須拓也著『コンゴ動乱と国際連合の危機——米国と国連の協働介入史, 1960～1963年——』ミネルヴァ書房 2017, ix + 393 + 35pp.
- 村上勇介・帯谷知可編『秩序の砂塵化を超えて——環太平洋パラダイムの可能性——』京都大学学術出版会

- 2017, 284pp.
- 山本信人監修 井上真編著『東南アジア地域研究入門
1 環境』慶應義塾大学出版会 2017, xvii + 345pp.
- 山本信人監修 宮原暁編著『東南アジア地域研究入門
2 社会』慶應義塾大学出版会 2017, xvi + 336pp.
- 山本信人監修・編著『東南アジア地域研究入門 3 政治』慶應義塾大学出版会 2017, xvi + 321pp.
- 渡辺昭一編著『冷戦変容期の国際開発援助とアジア——
1960年代を問う——』ミネルヴァ書房 2017, xi +
396 + 8pp.
- Esra Çeviker Gürakar, *Politics of Favoritism in Public Procurement in Turkey: Reconfigurations of Dependency Networks in the AKP Era*, Palgrave Macmillan, 2016, xv + 127pp.
- Grigore Pop-Eleches and Joshua A. Tucker, *Communism's Shadow: Historical Legacies and Contemporary Political Attitudes*, Princeton University Press, 2017, xiii + 341pp.
- Lisandro E. Claudio, *Liberalism and the Postcolony: Thinking the State in 20th-Century Philippines*, NUS Press in association with Kyoto University Press, 2017, xi + 227pp.
- Richard Baldwin, *The Great Convergence: Information Technology and the New Globalization*, Harvard University Press, 2016, 329pp.
- Takashi Kurosaki, *Comparative Economic Development in India, Pakistan, and Bangladesh: Agriculture in the 20th Century*, Maruzen Publishing, 2017, xiv + 235 pp.
- Tomoko Hashino, Keiji Otsuka eds., *Industrial Districts in History and the Developing World*, Springer, 2016, xvi + 194pp.
- Wataru Kusaka, *Moral Politics in the Philippines: Inequality, Democracy and the Urban Poor*, NUS Press, Kyoto University Press, 2017, iv + 305pp.